

 日本語版 ニュースレター	No. 73 平成 26 年(2014 年) 12 月 10 日発行 北海道・マサチューセッツ協会 会 長 森 本 正 夫
Hokkaido Massachusetts Society 北海道・マサチューセッツ協会	発行所 〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 道庁別館 12 階 TEL011-231-3392 FAX011-231-3666 発行人 中 垣 正 史 E-mail mmakagaki@jcom.home.ne.jp

北海道開拓の基礎を築いた指導者たち(28)

優れた蘭医・西洋医学を極めた関寛斎の生涯と業績

— 72 歳にして北海道開拓を志す……斗満(現在の陸別)開拓 10 年の軌跡 —

■ まえがき

関 寛 斎(せきかんさい)＜1830 年・文政 13—1912 年・大正元＞は、上総国(千葉県)の生まれ。佐倉順天堂で漢方医学を修めた後、長崎養生所で西洋医学を学び、徳島藩医となります。戊辰戦争では官軍の奥羽出張病院頭取を勤めますが、明治になって、徳島病院長、山梨病院長などを歴任、1873 年(明 6)徳島で町医者となり、長年貧民施療に尽力します。

そして、1902 年(明 35)72 歳の時、北海道開拓を志し、四男又一とともに斗満(とまむ)原野(現在の陸別)に入植し 10 年間の労働と医療にあたりました。牛首別(現在の豊頃)の報徳思想を実践する開拓結社「興復社」農場を視察し、二宮尊親(二宮尊徳の孫)の強い影響を受けて、自作農育成のための理想的な農村村落の建設を目指す「積善社」を設立します。寛斎は 1912 年(大正元) 陸別で没しますが、死後、4,000 ヘクタールを超える広大な農場のほとんどが小作人に解放されたといわれます。今日、陸別町では、陸別開拓の祖としてその功績を称えて、銅像・記念碑・資料館や記念公園など建設しています。また、その偉業に敬意を表して、陸別国民健康保険病院は、「関寛斎診療所」と名付けられています。今回は、この「関寛斎」にスポットを当ててみたいと思います。

■ 関寛斎の家系と生い立ち

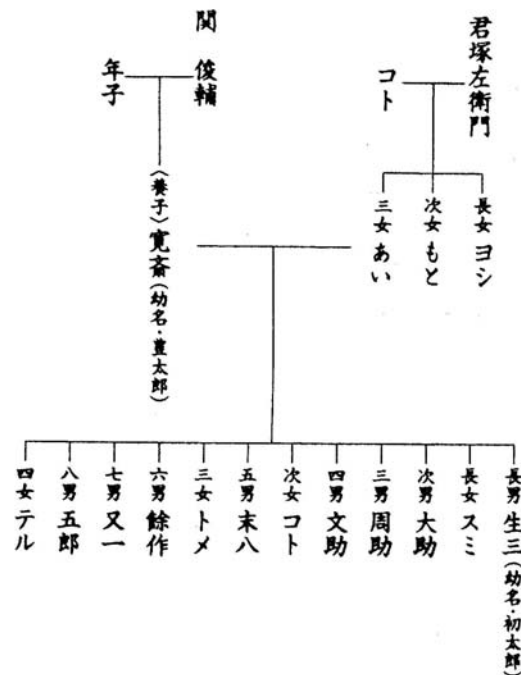
関寛斎(せきかんさい)は、1830 年(文政 13)2 月 18 日、上総国、九十九里浜に近い山辺郡中村(現東金市東中)の裕福な農家吉井左兵衛・幸子の長男として出生。幼名豊太郎。3 歳で母に死別、しばらくは祖父母に養育されますが、関家(関年子は母幸子の姉)に養われ 13 歳の時、関俊輔(素壽)・年子の養子となります。養父俊輔は、もと君塚家の長子でしたが、百姓ながらも幼い頃から周囲が瞠目するほど聡明で、他家の養子となり「関俊輔」と名乗っていました。「製錦堂」という私塾を開き多くの子弟に読み書きを始めとする学問を教えていました。豊太郎(寛斎)は、早くからこの「製錦堂」で儒学・処世訓などを学んだといわれます。

1848 年(嘉永元年)18 歳の時に、医学習得をめざして佐倉順天堂に入門します。この医学校に最初に納める年六両という大金は、寛斎の生家である吉井家と関家で折半して用意しましたが、あとは自力で苦学しながら、佐藤泰然について蘭医学を学んでいます。

佐藤泰然(1804—1872)は高野長英などから蘭学を学んだ蘭方医で、1843 年(天保 14 年)に日本最初の医学校兼私立病院「順天堂」を開いています。佐藤泰然の佐倉「順天堂」は、大阪の緒方洪庵の「適

塾」と並ぶ当時の二大蘭学塾といわれています。優れた医者であるとともに人格者であった泰然は、このとき以来寛斎の生涯の師となります。

佐倉順天堂には、西洋医学を学ぶために、全国から裕福な武家や医師の子弟が集まっていたといわれます。寛斎は、泰然のもとで玄関脇の一室で寝起きして、屋敷内の清掃から家族の世話までを引き受けて、その合間に医学の手ほどきを受けたといわれます。周囲からは「乞食寛斎」などと呼ばれて随分と苦労したのです。順天堂に学んだ4年間、尋常ならざる努力で、寛斎は師の泰然に一目も二目も置かれ、泰然が日本初の膀胱穿刺術を行う際もその助手を務めています。このように臨床に従事する傍ら、当時の施術や患者の様子を記録した「順天堂外科実験」を著しています。また「種痘」も広く施しています。この時期、寛斎はさらに林洞海、三宅良斎にも学んでいます。＜1849年(嘉永2)19歳の時、関寛斎と改名(名務、字致道)。後1870年(明治3)、寛(ゆたか)と改名、晩年は寛と称しています。＞



■ 郷里前之内～銚子時代

1852年(嘉永5)、父俊輔の強い希望もあり、順天堂での4年間の修業を終えて帰郷します。その12月25日、両家の親の取り決めた寛斎と君塚あいとの祝言があわただしく執り行われました。関寛斎22歳。君塚あい17歳。寛斎の生家の吉井家と君塚家、それに関家の縁者が駆けつけて賑やかに行われたのです。

君塚あい(1834-1904・明 37, 6, 20)は、寛斎と同郷の上総国山辺郡の前之内村で、君塚左衛門・コトの三姉妹の末子として生まれています。「君塚家」は、九十九里平野の中ほどに位置する温暖な地で、代々農を営む家で、読み書きに明るい当主が続いて百姓代として村の運営にも関わったため、前之内村では一目置かれる存在だったといわれます。あいは、幼い時から機織りの仕事を器用にできたようです。関俊輔は、左衛門の兄にあたり、俊輔・年子は、あいの伯父伯母にあたります。

寛齋は、郷里前之内村に帰ってすぐに、医院を仮開業しますが、ほとんど患者がなく、佐倉順天堂まで出かけて様々な外科手術に立ち会ったり、師に代わって執刀したりすることが多かったようです。また診察室にこもって、「順天堂外科実験」の記録を整理したりしたようでした。

寛齋は、妻あいとの間に8男4女を儲けていますが、夭折・病死が多く、5男2女が育っていますが、まず、1854年(安政元)2月6日 長男生三(幼名初太郎)誕生します。

1856年(安政3) 寛齋 26歳あい 21歳。2月15日 泰然の推挙により銚子荒野村(現在の銚子市興野)に移転開業します。銚子では、「関医院」の看板をかけたその日から患者が押し寄せて多忙を極めたといわれます。そして1858年(安政5)2月16日長女スミが誕生しています。

■ 恩人濱口儀兵衛(梧陵)との出会い

寛齋は、この地で濱口儀兵衛(梧陵)(1820—1885)と出会い、梧陵の勧めで、江戸に出て大流行のコレラの治療と予防対策を研究して、銚子に帰り防疫に努めました。幸い佐倉・銚子では大惨事にはならず流行は終わったといわれます。濱口梧陵は、ヤマサ醤油 7代目社長、人材育成や社会事業に関心を持ち大きな貢献をした人物で、この出会いは寛齋の後の運命に大きく関わることになります。

濱口儀兵衛(梧陵)(1820—1885)は、1820年(文政3)6月、紀州有田郡広村(現広川町)生まれ。本名文則、通称儀兵衛、号梧陵。幼くして父を亡くし、12歳にして本家の浜口儀兵衛商店(現ヤマサ醤油醸造)(銚子)に迎えられて醤油醸造の見習いを始めます。浜口家は、銚子(千葉県銚子市)に醤油醸造業を、さらに江戸に金融業を営む豪商ですが、家訓として、主人であつても少年時代に安逸な生活が許されず、困苦に耐える精神や人を率いる方法を会得するため、丁稚や小僧と寝食を共にすることを慣例としていたといわれます。

梧陵は、同時に文武の修業に励み、特に三宅良斎(みやけごんさい)に師事して西洋事情を学ぶや国家意識に目覚め、海防問題に強い関心を持つようになります。1853年(嘉永6)家督を継いで七代目浜口儀兵衛となります。代々の儀兵衛は紀州広村と銚子を往復して家業の経営を本業としています。

1854年(安政元)11月南海道大地震の際、梧陵は広村に滞在中で、「稲むら」(稲束を積み上げた稲塚)に火をつけて大津波から村民を救ったことは広く知られています。(これは、小泉八雲(アガサ・クリスティ)が短編集の中で「Living god 生ける神」として紹介、後に「稲むらの火」として昭和16年小学校国語読本に採用されます。「稲むらの火の館」(和歌山県有田郡広川町)が平成19年(2007)4月22日、記念館として建設されています。)

1855年(安政2)から4年がかりで、郷里広村に高さ5m、幅20m、長さ600mの大防波堤を完成させています。(広川町では毎年11月3日に堤防を築いた梧陵らの偉業とその徳をしのび、「津波祭」が行われています。) また借家を建設して困窮者に無償で貸与するなどしています。

梧陵は、人材育成を重視・教育事業にも尽力。開明的豪商として知られます。1866年(慶応2)、私塾「耐久社」(現耐久高校の前身)を設立しています。また焼失した江戸の種痘所も再建しています。

梧陵は、幕末から明治初頭にかけて、さまざまな公職を歴任し、1879年(明治12)第1回県会議員に当選、初代県会議長に就任しています。若いころからの念願であった欧米視察で、1884年(明治17)アメリカに旅立ち、翌年(明治18)4月21日視察の途中、ニューヨークで死去。66歳。(お墓は和歌山県有田郡広川町山本にあります。) アメリカでは、ウスターソースの製法を調べていますが、随行者がそれを日本へ持ち帰り、後に8代目儀兵衛がヤマサソースとして売り出しています。

【梧陵格言】 財は末なり、信は本なり、よろしく本末を明らかにすべし。

■ 梧陵の勧めにより長崎へ

1860年(万延元)3月29日二男大助誕生。寛齋は30歳。幕府は、黒船来航により、鎖国体制に終止符が打たれ、海防の整備を急務として、長崎に「海軍伝習所」を設けて軍艦の購入と操縦の指導者派遣を

オランダに依頼します。1857 年(安政 4)入港した軍艦ヤバン号(後の咸臨丸)によりオランダ海軍の青年軍医ポンペが来日したのです。

この、ポンペ・ファン・メーデルフォルト(1829-1908)は、幕府の要請により 1857 年(安政 4)海軍伝習所の教官として長崎に招かれたのです。ポンペによりわが国西洋医学の系統的教育の新時代が開かれたといわれます。ポンペは幕府に要請して「長崎養生所」(1861 年・文久元年-)を開設します。これは我が国最初の近代的様式病院で、医学所も併設しており、学生たちはここで医学の基礎課程を学び、養生所で臨床医学を実施に学びました。養生所初代頭取は幕臣で最初の医学生であった松本良順でした。また臨床教育用の洋式付属病院も開いています。

■ 帰郷後、徳島藩医へ

1862 年(文久 2)32 歳の春、一年余りで銚子に帰郷して開業しますが、この年 12 月 1 日、徳島藩医に招かれ、翌年 33 歳 徳島藩主の蜂須賀斉裕(なりひろ)の国詰侍医の道を選び、1 月江戸を出発し、5 月徳島城に出勤しています。6 月 7 日三男周助誕生。年末郷里の戻り、銚子旧宅を整理して、翌年 4 月、寛斎一家の行李五十三個に及ぶ家財道具を船便で送りますが暴風のために船が難破してすべてを失います。この時も梧陵の援助を受けています。1864 年(元治元年)10 月 23 日四男文助誕生(翌年 1 月 16 日夭死)。1867 年(慶応 3)4 月二女コト誕生(1889 明 2, 7, 20 二歳で夭死)。

1868 年(慶応 4)38 歳。1 月、寛斎を引き立ててくれた藩主蜂須賀斉裕侯が急逝。そして鳥羽・伏見の戦いが始まります。4 月には三条実家に随行して江戸に出て、戊辰戦争に軍医として参加。上野彰義隊の変の負傷者治療に当たり、後に奥羽出張病院頭取を命じられて、漢方医達の指導を行いながら負傷者の治療に当たり、その記録「奥羽出張病院日記」を著しています。この軍陣医学(外科治療)の功績が高く評価されて太政官より 100 両を贈られますが、栄達の道を捨てて再び徳島へ帰ります。

1869 年(明治 2)2 月 28 日五男末八誕生。3 月徳島医学校創設して校長に就任。また藩病院の開業など医師の育成事業にも尽力しています。翌年には、徳島藩巽浜医学校教授治療所長となりますが、不幸な出来事や宮仕えの苦しさなどから、退職して一度徳島を去ります。

1871 年(明治 4)4 月 15 日、三女トメ誕生。(11 月長女スミ、浜文平と結婚) 12 月海軍省に出仕海軍病院勤務。翌年山梨県甲府病院長となり、地域医療の充実に努めます。しかし 1873 年(明治 6)43 歳の時、再び徳島に帰り、徳島住吉島村で一開業医となり、翌年徳島裏の丁に移住。士籍俸禄ともに奉還して一平民となります。以後約 30 年間この地に住んでいます。この間、四国・九州などの各地を旅して旅行記を出版しています。(1874 年(明治 7)2 月 25 日二男大助 14 歳で夭折。) 6 月 12 日六男餘作誕生。(8 月 25 日五男末八 5 歳で夭死。)

徳島では、寛斎広大な医院と屋敷を構えていました。各地からの多くの門弟を抱え、多くの患者が詰めかけたため、屋敷前の道が「関の小路」と呼ばれたといわれます。寛斎は、急患があれば、距離や時間を厭わずに出かけ、貧しい人からは一文も取らなかったそうです。そのため、無料患者の数が多く、「関大明神」と崇められたといわれます。1876 年(明治 9)4 月 25 日 七男又一誕生。1877 年(明治 10)11 月 13 日 八男五郎誕生。1881 年(明治 14)2 月 8 日 四女テル誕生(1895 明 28, 9, 10 13 歳で夭死)。

寛斎は毎日、朝は 4 時に起きて散歩。朝食の味噌汁に牛肉を入れるなど栄養十分の食事をとり、門弟や女中使用人にも同じ食事をさせたのです。夜は 8 時に就寝するという規則的な生活を続けました。趣味は謡。それに 69 歳になって小鼓の稽古もはじめています。また旅行も好きで、所用で大阪・東京へ出た時には大和や日光へ足を延ばし、四国・九州の各地も旅して旅行記を出版しています。

1884 年(明 17)11 月 三男(後次男)周助渡米(200 円送金)一後、米国の大学へ。1885 年(明 18) 恩人

の浜口梧陵が旅先ニューヨークで客死。遺骸が出身地の紀州に戻ってからは、年に二度、墓参のために紀州を訪ねています。＜1896年(明治29)寛斎66歳の時、1月30日 長女スミが心臓発作で急死(38歳)しています。＞

■ 又一の北海道開拓事業

1892年(明治25)62歳。四男又一札幌農学校に入学。1894年(明治27) 又一は、北海道庁移民奨励により石狩郡樽川植民地原野 20ヘクタール(町歩) (6万坪)の貸付を受けて開拓に着手、閑農場として、小作人を使用して108ヘクタールにまで拡大しています。

また、又一の札幌農学校入学に際し徳島から北海道へ同行した片山八重蔵・ウタ夫妻が、又一を助けて開拓の鍬を振るっていました。1896年(明治29)、寛斎北海道視察。明治30年には、「北海道国有未開地処分法」施行、百五十万坪を上限として、10年以内に開拓すれば無償払下げとなりました。寛斎は、1898年(明治31)68歳7月、再び北海道視察に出かけています。

1899年(明治32)1月4日 古稀(数え年70歳)の祝いで、家族を始め、離れて暮らす息子たちや医学校時代の教え子、地元の名士などが大勢集まり大盛会となりました。そして1901年(明治34) 寛斎71歳・あい67歳、金婚祝賀を受けます。寛斎は金婚の祝いで、あいとともに郷里の上総を訪ねています。1901年(明治34) 又一は、北海道の奥地十勝～釧路にまたがる斗満原野と上利別1,011ヘクタール(約306万坪)の貸付許可を得て開拓の準備に入ります。またこの年「十勝国牧場設計」という卒業論文を書き上げて、斗満原野の地形や自然がいかに関牧場に適しているかという詳細な12年開拓計画を立てています。この年、又一が札幌農学校を卒業すると、さらに奥地の斗満原野1,377ヘクタールの貸付を受けています。

■ 寛斎の渡道～斗満への入植

寛斎は、いよいよ北海道原野開拓を決断し、家財を整理して開拓資金としました。渡道に先立ち、寛斎とあいは母屋を出て、米蔵に蓆(むしろ)を敷いて、鍋一つ茶碗二つだけで食事を作って食べ、風呂にも入らないで蓆に包まって眠るという開拓生活の練習を何日も繰り返したといわれます。そんな夫妻の様子に、名医関家の評判は落ち、破産したという噂まで広まったといわれます。

1902年(明治35)4月14日、寛斎(72歳)とあい(67歳)は、徳島を出発して船を乗り継いで、5月14日ようやく小樽に上陸します。そこから汽車で札幌に到着。まず、寛斎が斗満入植に際して用意した札幌郡山鼻村の仮住まいの家に落ち着きます。翌日から寛斎と又一は、山鼻の自宅から樽川農場へ朝早く出かけて夜遅くに帰るという生活がはじまりました。あいは、長旅の疲れもあり農仕事は無理ということで、家事万端を取り仕切ることになりました。斗満原野の開拓が軌道に乗るまでは、この樽川農場の収入が大事でした。6月末に又一が斗満へ向かいます。7月には、岡山医学校の三男餘作と東京の大学の五男五郎も札幌へ寛斎を訪ねてやってきます。8月5日には、寛斎と三男餘作が、片山夫妻(49歳と41歳)を案内人として斗満視察に出かけます。

すでにこの片山夫妻が先陣となって、樽川から斗満原野まで馬を引き、原始林で熊や蝮、蚊や虻などと戦いながら、アイヌの協力も得て巨木を掘り起こして開拓の基礎を築いてくれたのでした。連れて行った4頭の馬も21頭にまで増えていました。

ところで、寛斎は、医者としての社会的地位もあり、経済的にも満ち足りた生活の中で、どうしてすべてを投げ捨てて、北海道開拓の覚悟をしたのでしょうか。寛斎自身が「創業記事端書」(1910 明43)の中で次のように書いています。

明治三十四年には、我等夫婦に結婚後五十年たるを以て、児輩の勧めにより金婚式の祝いを心ばかりを挙げたり。然るにかかる幸福を得たるのみならず、身体健康、且つ僅少な養老費の貯えあり。此れを保有して空しく楽隠居たる生活し、以て安逸を得て死を待つは、此れ人たるの本文たらざるを悟る事あり。曾て豫想したる事あり。

夫れ我国たるや、現今戦勝後の隆盛を誇るも、然れども生産力の乏しきと国庫の空なるとは、世評の最も唱ふる處たり。依って我等老夫婦は、北海道に於ける最も僻遠なる未開地に向ふて我等の老軀と、僅少な養老費とおいて、我国の生産力を増加することに當らば、国恩の萬々分の一をも報じ、且つ亡父母の素願あるを貫き、霊位を慰するの慈善的なる學事の基礎を創立せん事を豫め希望する事あるを以て、明治三十五年徳島を退く事とせり。

然るに我等夫婦は此迄医業を取るのみにて、農牧業に経験無きを以て、児輩及び親族より其不可能を以て思い止むべきを懇切に諭されたるも、然れども我等夫婦は確乎と決心する所あり、老軀と僅少な資金と本より全成功を得べからざるも、責めては資金を希望地に費消し、一身たるや骨肉を以て草木を養ひ、牛馬を肥やすを方針とするのみ。

成ると成らざるとは、只天命に在ると信ずるのみ。故に徳島を発する時は、其困苦と労働と粗喰と不自由と不潔とを以って、最下等の生活に當るの手初めとして、永く住み慣れたる旧宅を退き、隣地に在る穀物倉に蓆を敷きたるままにて、鍋一つにて、飯も汁も炊き、碗二つにて最も不便極まる生活し一週間を経て、粗末なるを最も快しとして、旅行中にも此れを主張して、粗食不潔の習慣を養成せり。

札幌に戻って数日後、三男餘作と五男五郎はそれぞれ大学へ帰ります。寛斎とあいはいは、毎日、山鼻の家から片道 3 時間半をかけて樽川農場まで通ったのでした。しかしこの年は、収穫前の早霜で農場の作物はほとんどダメになり、売り物にならない僅かのを穫り入れたのでした。斗満の関牧場も厳しい状況でしたが、それでも牛は 7 頭、馬は 52 頭にまで増えていました。

翌 1903 年(明治 36)3 月。大学を卒業した五郎が東京を引き上げて札幌へやってきます。(この年は、又一が志願して一年の騎兵隊兵役についています。) 寛斎は 5 月 20 日斗満へ発ち、9 月末に札幌に戻っています。この秋、樽川農場は豊作。斗満の関牧場も初めての収穫があり、馬 95 頭、牛 10 頭、畑地 4 町歩・牧草地 20 町歩の開墾の成果を得ました。この年寛斎とあいはいは、渡道して初めて晴れやかな気持ちで年を越すことができたのでした。1904 年(明治 37)正月 26 日、氷点下 36.8 度という厳寒の朝、あいがい心臓発作で倒れますが、寛斎の必死の治療で翌朝には危機を脱します。2 月になって除隊した又一が、この大寒波で斗満の馬を 40 頭も死なせてしまったとの知らせを聞いて、急いで差別(陸別)へ向かいます。この 4 月、寛斎は、山鼻と樽川で種痘の接種を無料で行い人々から感謝されたといわれます。

その後、あいの体調回復が悪く、床を離れることができないまま経過します。あいはいは、せめて一目、この目で差別を見たいと祈っていました。夫とともに開拓の志を抱いて渡道して 2 年、あいはいは斗満の地に一度も鋤を入れることなくこの世を去るのかと胸を痛めていました。

[あいの遺言] あいはいは、寛斎に次のような遺言を託しています。

1. 葬式は決して此地にて執行すべからず。牧場に於て、卿が死するの時に、一同に牧場に於て埋める際に、同時に執行すべし。

1、死体は焼きて能く骨を拾い、牧場に送り貯えて、卿が死するの時に同穴に埋め、草木を養い、牛馬の腹を肥やせ。

1、諸家より香料を送らるるあらば、海陸両軍費に寄付すべし。

あいの病状は落ち着いて、少し穏やかな暮らしが続きますが、同 1904 年(明 37)6 月 20 日の朝、あいはい最後の発作に襲われ、帰らぬ人となりました。あい 70 歳の献身的な生涯でした。

1906 年(明治 39)には、息子の次男周助・三男餘作・四男又一の名義で 1011 ヘクタールの成功貸付などにより、徳島県関係者の貸付地まで含めると、開拓許可面積は 7203, 69 ヘクタールに及んでいます。

■ 徳富蘆花の来訪

寛斎は、冬季にはマイナス 30 度以下になることも珍しくない厳寒の斗満(現陸別)の地に入植しま

した。以後 10 年間、想像を絶する困難にもめげず開拓の鋤をふるい、また地域住民の診療や種痘などの医療にも従事したのです。1904 年(明治 37)74 歳 牛首別(現在の豊頃)の報徳思想を実践する開拓結社「興復社」農場を視察して、二宮尊親(二宮尊徳の孫)の強い影響を受けます。この農場が入植者に土地を与えていることを知り、そのやり方に変えて斗満の開拓が大きく進みます。そして翌 1905 年(明治 38)自作農育成のための理想的な農牧村落の建設を目指す「積善社」を設立します。

1907 年(明治 40)徳富蘆花との交流はじまる。1908 年(明治 41)78 歳、東京武蔵野粕谷に徳富蘆花を訪問します。1910 年(明治 43)80 歳の時、「関牧場創業記事」を発表して、克明な記録を残しています。この年 1910 年(明 43)9 月 24 日～30 日、徳富蘆花が妻愛子・鶴子を伴って斗満の関農場を訪ねています。(蘆花の「みみずのたはこと」に詳しく書かれています。)

■ 寛斎の突然の死

1912 年(大正元)82 歳 蘆花の協力を得て、一寛斎自身実践の心身鍛錬法をまとめた「命の洗濯」を東京警醒社より発刊。同年 10 月 8 日に、三男餘作が網走監獄の医官として着任しています。

寛斎は、トルストイと二宮尊親に深く心酔しており、小作人に農地を解放することを希望しましたが、家族に強く反対されて苦悩の末に、1912 年(大正元年)10 月 15 日、農場事務所で服毒自殺します。82 歳。自殺の原因としては他に、明治天皇崩御と乃木希典の殉死、長男生三の息子からの財産分与をめぐる訴訟、寛斎自身の心身の衰えなどが考えられています。

寛斎は 1912 年(大正元) 陸別で没しますが、死後、4,000 ヘクタールを超える広大な農場のほとんどが小作人に解放されたといわれます。今日、陸別町では、陸別開拓の祖としてその功績を称えて、銅像・記念碑・資料館や記念公園など建設しています。また、その偉業に敬意を表して、陸別国民健康保険病院は、「関寛斎診療所」と名付けられています。

現在、関寛斎あい夫妻は、あいの遺言どおり、陸別町を見渡せる小高い丘に一緒に眠っています。
[寛斎辞世] 諸ともに契りし事も半ばにて斗満の里に消ゆるこの身は

わが身をば焼くな埋むなそのままに斗満の原の草木肥やせよ (八十三老白里)



関寛翁・関あい嬢 埋葬の地



関寛斎銅像(緑と太陽の広場)

〔寛齋格言〕 空しく楽隠居たる生活し以て安逸を得て死を待つは此れ人たるの本分たらざるを悟る
事あり

＜四男又一は、1948年(昭和23年)2月2日死去しています。71歳。＞

■ 関 寛齋を記念(顕彰)するもの

★ 陸別町―「関寛翁碑」 没後25年祭顕彰碑(題字徳富猪一郎、碑文佐藤恒二佐倉順天堂病院長)
1936年(昭和11年)10月15日現在の関公園に建立

―「関 寛齋銅像」建立 緑と太陽の広場 1978年(昭和53年)

―「席 寛齋資料館」 1993年(平成5年) その他、関神社創建、関公園の造成など。

★ テレビ放送番組

― NHK TV (ほっかいどう 7:30) 1978, 3, 9 放送、

「関 寛齋」帯広放送局制作(宮川泰夫アナウンサー解説)

― 千葉TV (房総プロムナード) 1995, 1, 23 放送「関 寛齋〜江戸の蘭方医〜」

― NHK E TV 1995, 3, 15 放送 シリーズ・日本をつくった日本人

「老いて我が理想は捨てず〜城山三郎が語る 関寛齋〜」

■ あとがき

関寛齋のことを知って感動しました。いろいろ調べてもっと感動しました。原稿執筆を決意してから、いろんな資料を読みましたが、やはりこれは「現地リサーチ」にいかねばならないと考えました。そこで去る8月1日(金)〜3日(日)、遠い陸別まで出かけました。

札幌から池田までJR特急「スーパーおおぞら」で約3時間、そして池田駅前で1時間ほど待って〜陸別行バスに乗り継いでさらに2時間……片道なんと約6時間強の旅となりましたが、幸い晴天に恵まれて、利別川沿いに北上するバスの旅は興味深いものでした。関寛齋・又一が拓いた土地は広大なものでした。徳富蘆花の「みみずのたはごと」や司馬遼太郎の「胡蝶の夢」などの文章に気持ちを重ねながら歩いてきました。

陸別町教育委員会の大鳥居仁主事の親切なご案内で、「関寛齋資料館」をはじめ、寛齋ゆかりのところをあちこち案内していただきました。わざわざ、少し離れた高台になっているところまで連れて行っていただき、関寛齋が開拓したという広大な土地を一望することもできまして、感慨一入でした。そして、「関寛翁 関あい 堀 埋葬の地」(お墓)にも手を合わせてお参りしてきました。

陸別の有名店、「正己泰食堂」の道内産そば粉 100%の手打ちそばは、ほんとうにとっても美味しかったです。おすすめします。(執筆担当：中垣 正史)

＜主な参考文献及び参考資料＞

□「関 寛齋」鈴木要吾編 関 又一発行 昭和11年非売品 □「原野を拓く―関 寛開拓の理想とその背景―」 陸別町郷土叢書Ⅰ 陸別町役場広報広聴町史編さん室編集 □「野の人 関寛齋」米村晃太郎著 春秋社 □「関 寛齋―蘭方医から開拓の父へ」 川崎巳三郎著 新日本新書 □「関 寛齋―最後の蘭医」 戸石四郎著 三省堂選書 □「街道をゆく 15 北海道の諸道」司馬遼太郎著 朝日文庫 □「胡蝶の夢」(1)〜(4) 司馬遼太郎著 新潮文庫 □「あい 永遠に在り」高田郁著 角川春樹事務所 □「みみずのたはこと ―関寛翁」 徳富健次郎著 岩波文庫(上下) □「人生余熱あり」城山 三郎著 光文社文庫 □「時をこえて十勝の川を旅しよう」(財)北海道開発協会編集 北海道開発局帯広開発建設部発行 □「ほっかいどう百年物語」STVラジオ編 中西出版 □ 関寛齋資料館 など北海道陸別町現地リサーチ □ インターネット資料など

平成 26 年度 第 2 回 国際交流ランチセミナー記録

～ ハロウィーン パーティー・異文化交流の昼食交流会 ～



Halloween Party



日 時 平成 26 年 10 月 25 日(土) 11 時 00 分～14 時 30 分

会 場 すみれホテル 2F レストラン「ルピナス」(中央区区北 1 条西 2 丁目)

(ゲスト)

孫 福浩	(ソン・フクコウ)	北海学園大学留学生 (中国)	M
禹 光鎮	(ウ・グァンジョン)	北海学園大学留学生 (韓国)	M
Lizeth Gonzalez Carabarin	(リゼス・ゴンザレス・カラバリン)	北大大学院留学生 (メキシコ)	F
Alicia Bechtle	アリッジャ ベクトル	札幌市在住者 (アメリカ)	F
黄 健志	(コウ ケンジ)	千歳市教育委員会ALT(カナダ)	M
Colin Bennett Moodie	コリン・ベンネット・ムーディ	札幌国際日本語学院(アメリカ)	M
Zachary Paul Casselman	ザッカリ・ポール・キャセルマン	札幌国際日本語学院(アメリカ)	M
Arto Tammenoksa	アルト・タンメンオクサ	札幌大学留学生 (フィンランド)	M
Adam White	アダム・ホワイト	札幌大学留学生 (アメリカ)	M
Bethany Manning	ベサニー・マンニング	札幌大学留学生 (アメリカ)	F
Norm Capistrano	ノーマン・カピストラノ	米総領事館領事 (アメリカ)	M

概要: この国際交流ランチセミナーは、2001 年(平成 13 年)から、広く多国籍の外国人をゲストとしてお招きして、国際交流や異文化理解の楽しい時間を共有しています。今回も、「ハロウィーン」をテーマとして、多国籍のゲスト 16 名をお迎えしました。

このセミナーは、今回で 38 回目です。参加者は、当日欠席者がありまして、合計 28 名でした(通訳は、札幌在住のローラ・野口さんをお願いしました。かわいい子供さんたちも一緒でした。)

今回も、会場の時間の関係・さらに紙面の都合もありまして、簡単な挨拶スピーチの記録となりました。

「ハロウィーン」の歴史は古く、紀元前までさかのぼります。古代アイルランドでは 11 月 1 日を新年と定め、その前日 10 月 31 日は、死者の霊が家族を訪ねたり、精霊や魔女が出てくると信じられていました。これらから身を守るために仮面を被り、魔除けの焚き火を焚いたりしました。家族のお墓にお参りして、そこで蝋燭をつけるという地方もあり、墓地全体が、大きなランタンのように明々と輝いたといわれます。(日本のお盆の迎え火・送り火に似ています。) 8 世紀ごろになると、キリスト教の教会が 11 月 1 日を多くの聖人たちをお祝いする日 (All Saint's Day) 「諸聖人の日」(万聖節)と決めました。アングロサクソン語で聖人のことを Hallow と言うので、この日は All Hallowmas と呼ばれていて、その前日 10 月 31 日は All Hallow's eve (聖人の日の前夜祭) と呼ばれ、現在の Halloween(ハロウィーン)の語源になったといわれています。

これに因み、31 日の夜、カボチャ(本来はカブ)をくりぬいた中に蝋燭を立てて「ジャック・オー・ランタン」を作り、魔女やお化けに仮装した子供達が「トリック・オア・トリート (Trick or treat. お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ)」と唱えて近くの家を 1 軒ずつ訪ねる。家庭では、カボチャの菓子を作り、子供たちは貰ったお菓子を持ち寄り、ハロウィーン・パーティーを開いたりする行事になっていきます。

アメリカにハロウィーンの習慣が入ってきたのは 19 世紀のことで、多くのアイルランドの人々が移民してきたことにより一般的になったようです。カボチャをくりぬいて作る「ジャック・オー・ランタン」もアイルランドの言い伝えによるものです。所行が悪く天国にも地獄にも行けないジャックが、カボチャのランタンを持ってこの世を永久にさまようことになるという物語が元になっています。最近では宗教的な意味は薄れ、思い思いのコスチュームを着て楽しむ日へと変わりつつあります。子供たちがお化けや魔女に変装して、「Trick or Treat」(お菓子をくれないと魔法でイタズラをするぞ)と言いながらキャンディを集めてまわる様子はおなじみかと思えます。子供だけではなく、大人もコスチューム/パーティーなどで楽しむイベントも多くなってきました。

1 リゼス・ゴンザレス・カラバリン（メキシコ・女性・北海道大学大学院留学生）

皆さんこんにちは。私はメキシコからきて、北大で勉強しています。リゼスと申します。私の参加は2回目ですが、今日はまた、いろんな方とお話が出来てとても楽しかったです。

ハロウィーンのお祝いは、メキシコでは10年くらい前から行われるようになりましたが、私は、小さい頃から一度もしたことがありません。

メキシコには、ハロウィーンに似た「死者の日」という先祖の霊をお祭りする行事が古くからあります。11月の1日・2日には先祖の霊が帰ってくるということで、みんなの家で祭壇を設けてきれいな飾り付けをして、たくさんの食べ物やお花を供えます。食べ物も沢山あるし、子供の時から一番好きなお祭りでした。お墓も除して、いろんな装飾をしてお祈りしたり、仮装をしたりしてハロウィーンにとっても似ています。今日は、ご招待いただきまして、ほんとうにありがとうございます。

2 ベサニー・マンニング（アメリカ・女性・札幌大学留学生）

皆さんこんにちは。私はアメリカインディアナ州から来ました札幌大学の留学生です。アメリカのハロウィーンは、みなさんご存知のように、小さい子供から大人まで、仮装をして楽しめます。

小さい子供たちは、暗くなってから近所の家をまわって、「トリック・オア・トリート」（お菓子をくれないと悪戯するぞ！という意味ですが）と言ってキャンディをもらいにいきます。私にも懐かしい子供時代の思い出です。また最近、アメリカでは、お化け屋敷とかに行き、人を驚かしたりするのが流行っているみたいです。それくらいですね。今日は、ありがとうございました。

3 ソン・フクコウ（中国・男性・北海学園大学留学生） <日本語で>

私は、北海学園大学経営学部1年生の留学生、ソン・フクコウと申します。2年前に高校卒業してすぐに中国のハルビンから日本にきました。

中国では、ハロウィーンの行事は、大学や会社などで一部楽しんでいる人たちもいますが、国としてのお祭りはありません。ぼくは、ハロウィーンのこと詳しく知らなくて、今回はじめて体験しました。いろいろ楽しんで、勉強になりました。ありがとうございました。



HOMAS International Exchange Luncheon October 25, 2014

4 ザッカーリー・ポール・キャセルマン（アメリカ・男性・札幌国際日本語学院生）

こんにちは。私は、この国際交流ランチセミナーの参加は2回目で、今日もここにお招きいただいてとても楽しんでいます。

ハロウィーンの思い出は、子供の時、「トリック・オア・トリート」をして、アメをたくさんもらってとてもうれしい行事でした。アメをくれない家にはトイレットペーパーを投げつけて帰りました。そういう悪戯をしました。雨が降ったら、そのトイレットペーパーを片付けるのがとても大変だったのを覚えています。

私は、もう1年札幌で日本語を勉強していますので、また来年もぜひ参加したいと思っています。来年は、日本語でスピーチすることを約束したいと思います。ありがとうございました。

5 ウ・グァンジン（韓国・男性・北海学園大学留学生）＜日本語で＞

私は、ウ・グァンジン(禹 光鎮)です。日本人の方はあまり読めないなので、カンジンと呼ばれています。今年の4月から日本に来て勉強しています。韓国ではハロウィーンのお祝いは全然なくて、私は、これがはじめてのハロウィーンの体験です。とても面白いと思っています。韓国に帰ってからもやってみたいと思っています。今日は、ありがとうございました。

6 アルト・タンメンオクサ（フィンランド・男性・札幌大学留学生）＜日本語で＞

(…アルトさんは、このセミナー参加4回目になりますので、今日は何を話したらいいかと相談をしていました…) 皆様、たびたび紹介していただいてありがとうございます。去年もお話しましたが、フィンランドでは、ハロウィーンの行事はやってないと思います。私の人生では、この国際セミナー以外では、ハロウィーンをやったことはありません。それでハロウィーンについては、なにも話すことはありません。

日本に来て1年経ちましたので、日本での生活について少し話したいと思います。今は、札幌にとても親しい友達ができていつも楽しく遊んでいます。まるで家族のようにお世話になっています。その友達は、今フィンランドに留学していますので、友達が私の家族の一員になって、私とその代わりに友達の家族になっているみたいです。札幌で、何も心配なく暮らせるので心強いです。自分の国へ全然帰りたいと思わないです。したがって、まだしばらく日本にいます。また、来年もこの国際セミナーに参加させていただきますと思います。それで以上です。

7 ノーマン・カピストラノ（アメリカ・男性・在札幌米国総領事館領事）

(在札幌米国総領事館領事として、総務・経済を担当しておられます。高校生の留学ビザなどについてもお話いただけるかと思います…) こんにちは。ご紹介いただきまして、ありがとうございます。私は、札幌に来る前に、2年間、東京のアメリカ大使館にいました。東京はいろんなところがあって、とても楽しかったです。

今年6月に、在札幌アメリカ総領事館に領事として着任しました。総務と経済を担当しています。日本とアメリカの人の交流や、文化交流に関することを広くお世話していますので、何でも質問がありましたら、私に話しかけてください。

8 アダム・ホホワイト（アメリカ・男性・札幌大学留学生）

皆さんこんにちは。私は、アメリカのネブラスカ州からきました。今日は、このセミナーにはじめて参加しました。アメリカのハロウィーンについては、皆さんのお話以上のことはありませんが、ぼくの家族で、ハロウィーンの時によく遊んでいたゲームがあります。それは、水に浮かべたリングを口だけで取り出すのです。手を使ってはいけません。手は後ろで縛ってやります。なかなか取り出せなくて面白いゲームでした。

大きなカボチャのジャック・オー・ランタンも、毎年、家族みんなで作っていました。今日も参加して、皆さんと一緒に、パンプキンのカービングをして楽しかったです。今日はどうもありがとうございました。

9 コウ ケンジ (カナダ・男性・千歳市教育委員会ALT)

皆さんこんにちは。今日はお招きいただきありがとうございます。私は、今回で3回目になります。前回は、英語の名前で参加していましたが、漢字の名前は、黄 健志(コー ケンジ)です。

カナダとアメリカのハロウィーンのやり方はあまり変わらないと思います。同じように「ジャック・オー・ランタン」を作って、みんな仮装をして、「トリック・オア・トリート」もします。

10月の感謝祭では、家族や友人たちが集まって、みんなでターキーとかパンプキンパイを食べますが、とても美味しいです。札幌のコストコ(COSTCO)でも売っていますので、ぜひ食べてみてください。以上です、どうもありがとうございました。

[注] 感謝祭(Thanksgiving Day) は、Thanksgiving と省略されたり、Turkey Day とも呼ばれています。

アメリカでは11月第4木曜日、カナダでは10月第2月曜日になっています。

10 コリン・ベンネット・ムーディ (アメリカ・男性・札幌国際日本語学院生)

皆さんこんにちは。今日は、2回目お招きいただきましてありがとうございます。私は、ザッカリーと同じ学校で、日本語を勉強しています。アメリカのハロウィーンについては、もうお話することはあまりありませんが、アメリカも州によって、また大都市と田舎では少しやり方が違います。私は子どもの時は、田舎に住んでいましたので、全部の家を回ってアメをたくさん集めていました。

でも、大きくなってニューヨーク州に引越して、7年間も住んでいましたが、近所の子どもたちは1回も私の家に来たことがありません。大都市で育った子どもは可哀そうだとおもいますね。それからもう一つ、最近では、映画館に行って怖い映画を観る習慣がありますね。私は怖い映画は好きじゃないけれど、無理やり連れていかれました。

それにしても、私の好きな祝日は、クリスマスと、次にハロウィーンです。クリスマスでは、プレゼントを貰えるからいいですけど、ハロウィーンは、アメを沢山貰えるから好きでした。日本人の学生にも、一度でも家を一軒ずつ回っていく「トリック・オア・トリート」の経験をしてほしいですね。…どうも、ありがとうございました。

11 アリッサ ベクトル (アメリカ・女性・札幌市在住者)

こんにちは、アリッサです。もうアメリカのハロウィーンの説明することないんですが、去年もお話したと思いますが、暗い時はいろいろ危ないので、私の教会では、みんな駐車場に集まって、そこで子供たちはアメをもらっていました。そしてホールでいろんな楽しいゲームなどをしました。

12 ローラ ノグチ (アメリカ・女性・札幌市在住者)

(最後に今日の通訳のローラさんをお願いします。札幌で日本人と結婚されています。今日はお子さん3人と一緒に来ていただきました……) 私とアリッサは、二人ともクリスチャンで、インディアナポリス(注:アメリカ中央部インディアナ州の州都)の同じ教会から来ました。小さい時から同じ教会に通っていて、毎年ハロウィーンをやって、仮装のコスチュームを着て、キャンディをたくさん貰って楽しかったです。

現在、札幌の「恵みキリスト教会」(中央区南11西6)にいます。今日は、ありがとうございます。

室蘭～伊達・有珠歴史探訪ツアー 実施概要

日 時	平成 26 年 8 月 31 日 (日) 8:00 出発 ～ 19:00 帰着	<1 日バスツアー>
コース	札幌駅北口出発～(高速道路)～(本輪西展望所)～(室蘭 IC)～(白鳥大橋)～白鳥大橋記念館(道の駅「みたら室蘭」)～絵鞆臨海公園(プロビデンス号室蘭来航 200 年記念碑)～(大黒島遠望)～絵鞆岬先住民慰霊碑～測量山(199.6m)～(室蘭八幡宮)～(八木義徳文学碑)～海の文学館～旧室蘭駅舎～入江臨海公園(ホーレス・ケプロン顕彰碑)～ <u>昼食会</u> (室蘭プリンスホテル)～(新日鉄室蘭製鉄所)～(母恋駅)～地球岬～(JR 室蘭駅)～白鳥大橋～民族資料館(南部藩陣屋跡)～(有珠へ)善光寺(宝物館)～バチラー夫妻記念教会堂～(伊達へ)(宮尾登美子文学記念館)～伊達市開拓記念館～(北海道糖業(株)道南製糖所)～(伊達 IC)～(高速道路)～(輪厚サビエリア)～札幌帰着	



★室蘭(モロラン)の歴史は:「絵鞆岬」周辺の約 7 千年前縄文時代早期の遺跡群発見に遡ります。近世になって蝦夷各地に交易「場所」が開かれますが、室蘭地方は、1593 年(文禄 2 年)松前藩の領地となり、1600 年頃(慶長年間)には「絵鞆場所」が開設され、「運上屋」が建てられます。夏場には松前藩からの弁財船がやって来て、アイヌの海産物・毛皮類と米・塩・衣類・嗜好品との交易を行っています。江戸幕府の命により、1856 年(安政 3 年)東蝦夷地南部藩陣屋が設置されて、明治になって廃止されるまで、約 300 名の南部藩士が警備にあたっていました。



アイヌ先住民慰霊碑(絵鞆岬高台 1962 年建立)



室蘭歴史の原点: モロラン発祥の地「絵鞆岬」

**みどころ： 絵鞆岬 先住民慰霊碑(1962・昭37年建立)、プロビデンス号来航(1876・安政8)200年記念碑、
ホーレス・ケプロン(1872、1873、1874来道)顕彰記念碑、海の文学館、旧室蘭駅舎、民族資料館**

1873年(明治6年)札幌本道開通。室蘭～森間の定期航路も開設されて室蘭の近代化が本格化します。そして1892年(明治25年)岩見沢～輪西間鉄道開通により、石炭の運搬・輸出港として飛躍的に発展することになります。1907年(明治42年)日本製鋼所設立、2年後には輪西製鉄場が完成して、石炭と砂鉄・鉄鉱石混合による日本初の製鉄がおこなわれています。第二次大戦中は軍需工場として、専ら軍艦の砲身や鋼板などが造られ、樽崎造船、函館ドック室蘭製作所もフル稼働しました。戦後は、大企業の進出が相次いで、日鐵セメント・新日本石油精製・日本製鋼所・新日本製鐵・三菱製鋼など世界トップレベル産業技術が集積する町として発展を続けています。現在、室蘭市の人口は約91,600人。白鳥大橋・測量山・地球岬からの眺望は素晴らしい！

★伊達の歴史：仙台藩分家の亘理伊達家当主・伊達邦成が、戊辰戦争後の家臣団の生活確保のため1870年(明治3年)以来、開拓移民団として入植。伊達村・伊達町・伊達市へと発展。現在は人口36,000人の伊達市となっています。

★伊達の北海道糖業(株)道南製糖所：クラーク博士の伊達視察の折、甜菜(ビート)栽培の勧めがあり、1880年(明治13年)、わが国最初の官営甜菜製糖工場が建てられました。当時フランスから輸入された機械が、いろいろな経緯を経て、現在、記念機械として工場敷地内に保存されています。

**みどころ： 亘理伊達家菩提寺大雄寺(だいおうじ)、伊達市開拓記念館、迎賓館、(宮尾登美子文学記念館)、
北海道糖業(株)道南製糖所**

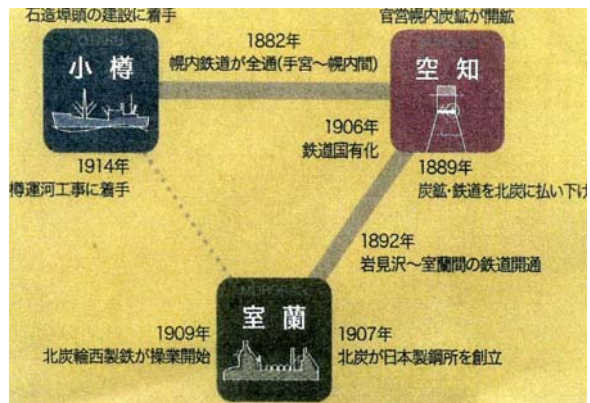
★有珠善光寺—826年(天長3年)、比叡山の慈覚大師の開基によると伝えられる浄土宗のお寺です。大師自ら彫ったとされる本尊阿彌陀如来像を安置しています。1613年(慶長18年)松前藩5代領主慶広が如来堂を再興。その後、1802年(享和2年)～1806年(文化3年)、将軍徳川家斉が、厚岸の臨濟宗国泰寺・様似の天台宗等討(とうじゅ)院とともに、蝦夷三官寺の一つとして建立。江戸芝増上寺の末寺となります。1974年(昭和49年)国の史跡に指定されています。宝物館には、釈迦如来大仏、円空仏、念仏のアイヌ語訳併記「版木」などの多数の文化財・宝物が展示されています。

★有珠のバチラー夫妻記念教会堂—キリスト教英国聖公会宣教師バチラー(1854—1944)は、北海道各地でキリスト教の伝道と同時に先住民アイヌ民族の人権向上のために、64年間献身的に努力しました。有珠のアイヌ豪族向井富蔵(向井八重子・山雄の父)の地に記念教会堂があります。

みどころ： 善光寺・宝物館、バチラー夫妻記念教会堂



【写真】有珠のバチラー夫妻記念教会堂前にて



室蘭近代化の構図

新企画 北海道を知る歴史発見の旅シリーズ 2015 十勝・帯広歴史探訪コース

日 時 平成 27 年 6 月 27 日(土)～28 日(日) <1泊2日バスツアー>

コース 1 日目

札幌駅北口出発～(高速道路)―(トマム)―(十勝清水 IC)― 外国人甜菜農家コッホの家 ― 昼食(有名蕎麦店・そば「二合半」) ― R 3 8 号線 ― (日本甜菜製糖工場・芽室製糖所) ―(帯広)北海道製糖株式会社・ビート資料館 ―(トテッポ通り)―(緑ヶ丘公園)帯広百年記念館・中城ふみ子歌碑・十勝監獄跡・石油庫跡 ― 帯広市立図書館(中城ふみ子コーナー) ― ホテル(ルートイン予定)宿泊

2 日目

帯広神社―中島公園(依田晩三銅像)―帯広発祥の地 ―渡辺勝・カネ入植記念碑―(音更)柳月スイートピアガーデン―昼食(六花亭本店)―六花の森―(中札内 IC) ―(高速道路)―(サピスリ)―札幌帰着
参加費 30,000 円 (マイクロバス全行程交通費、昼食代、入館料、資料代・写真代など)

* 追って「参加者募集要項」でご案内してから、お申し込み受け付けいたします。

歴史探訪ポイント

- ★十勝・帯広(オホパル)の歴史：古くは松前藩からの弁財船がやってきて、アイヌの海産物・毛皮類と米・塩・衣類・嗜好品などとの交易を行っています。近代になって十勝の開拓は、1883 年(明治 16 年)5 月、依田勉三(1853-1925)率いる晩成社移民団 13 戸 27 名が最初に現在の帯広の地に入植してから本格化します。長年干ばつ・冷害やバッタの大群の襲来などとの戦いがつづきます。その後、各府県から移民団が入植します。十勝地区は、寒冷地のため、本州の稲作中心の農業ではなく畑作農業を基盤として発展していきます。
- ★十勝監獄の歴史：北海道の集治監は、ロシア南下政策に対抗するため開拓を急務とした明治政府が、樺戸(月形町 1881・明 14)、空知(三笠市 1882・明 15)、釧路(標茶町 1885・明 18)―網走分監(1891・明 24)を設置し、囚人の労働力を開拓に利用しました。釧路分監の囚人によって 1893 年(明 26)、大津―帯広―芽室を結ぶ「大津街道」が作られます。1895 年(明 28)十勝分監(十勝監獄)が設置されて、当時人口 300 人ほどの帯広に、囚人 1,300 人と職員 200 人の分監ができたことにより、帯広市の市街地は急速に発展したといわれます。
- ★二宮尊親と興復社＝牛首別(現豊頃町)の歴史：二宮尊親は、祖父二宮尊徳の報徳思想を実践する開拓結社「興復社」を率いて、1897 年(明 30)牛首別原野に入植して 10 年間で約 850 ヘクタールを開墾。福島県相馬地方から移住した小作人を、土地を持つ自作農に育て、十勝地区の農業・教育に大きな足跡を残しています。
- ★関寛斎と積善社＝斗満(現陸別町)の歴史：関寛斎(1830-1912)は、長崎で西洋医学を学び、徳島藩医となり、幕末の戊辰戦争では官軍の医師として従軍。後、徳島病院長・山梨病院長などを歴任。1873 年(明 6)徳島の町医者となります。1902 年(明 35)72 歳で、北海道開拓を志し、四男又一とともに斗満(現陸別町)に入植、4,000 ヘクタールを超える広大な土地を開墾します。二宮尊親の影響を受けて、積善社を設立し、広大な農場のほとんどを小作人に解放しています。
- ★日本甜菜糖・芽室製糖所：1880 年(明 13)わが国最初の官営甜菜製糖工場＝北海道糖業道南製糖所(伊達市)。1919 年(大 8)北海道製糖(帯広市)として設立。現在、東洋一の規模を誇る生産量。
→[すずらん印の砂糖]

事務局短 信

平成 26 年度 今後のイベント予定 (案)

□「マサチューセッツDAY2015」

＜日時：平成 27 年 2 月 7 日(土)10:00～12:00、 会場：道庁赤れんが庁舎 2 階 2 号＞

2015 年は、北海道とマサチューセッツ州の姉妹提携 25 周年にあたり、2 月 7 日は、その姉妹提携調印が行われた日、「北海道・マサチューセッツ協会」誕生日です。それに因み、姉妹提携 25 周年記念「マサチューセッツDAY」記念セミナーを、別紙要領で開催いたします。

□ 第 3 回 国際交流ランチセミナー(ひなまつり)＜平成 27 年 2 月 22 日・すみれホテル＞

平成 27 年度の事業予定について

・国際交流ランチセミナー

平成 13 年度(2001 年)から、毎年 3 回、多国籍の外国人ゲストを多数招き、国際交流や異文化理解の昼食会として実施。これまで 38 回実施しています。札幌・小樽の各大学留学生や札幌在住の外国人、またマサチューセッツ州からの訪問団グループもゲストとしてお迎えしています。平成 26 年度も、第 1 回(6 月 29 日ノーブルズ高校を迎えて)。第 2 回(10, 25 ハロウィーン)実施済。第 3 回(ひなまつり)を 2 月 22 日実施予定です。

この国際交流ランチセミナーは、平成 27 年度も継続的に実施の予定です。

・北海道を知る歴史発見の旅シリーズについて

「北海道を知る歴史発見の旅」は、平成 14 年度(2002 年)～平成 22 年度(2010 年)の 9 年間、35 回実施。約 700 名の方々の参加を得て、札幌圏のコースは一応終了しました。毎回編集した「歴史資料集」も、貴重な財産となっています。その後、新企画でスタートしています。

平成 23 年度「函館・七飯歴史探訪コース」(6 月 4・5 日)、「小樽歴史探訪コース」(9 月 11 日)

平成 25 年度「三笠歴史探訪コース」(6 月 2 日)。平成 26 年度「室蘭～伊達歴史探訪コース」(8 月 31 日)を実施しました。平成 27 年度は「十勝・帯広歴史探訪コース」を企画しています。

・国際交流推進事業

国際交流事業としては、2015 年は、姉妹提携 25 周年にあたります。現在、記念事業を検討中です。訪問団の訪問・来訪については未確定です。

平成 27 年度のイベント予定 (原案)＝(日程変更も?)＝

□ 平成 27 年度 理事会・総会及びミニコンサート＜4 月 22 日(水)・KKR ホテル札幌＞

□ 北海道を知る歴史発見の旅シリーズ「十勝・帯広歴史探訪コース」

＜6 月 27 日(土)～28 日(日)＞

□ 姉妹提携 25 周年記念セレモニー事業 ＜10 月予定(未確定)＞

□ 第 1 回国際交流ランチセミナー「サンクスギビングデー」 ＜11 月 23 日(水)＞

□ 第 2 回国際交流ランチセミナー「ひなまつり」 ＜平成 28 年 2 月 28 日(日)＞

2015 年 北海道マサチューセッツ州姉妹提携 25 周年を迎えます!

